



2021年5月25日

各 位

会 社 名 T O W A 株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 岡田 博和  
(コード番号 6315 東証第一部)  
問 合 せ 先 執行役員経営企画本部長 中西 和彦  
TEL (075) 692 - 0251

## 〔訂正〕「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2021年5月13日に発表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、下記のとおり一部訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。  
なお、訂正箇所には下線を付しております。

### 記

#### 1. 訂正の理由

「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、記載の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものであります。

#### 2. 訂正の内容

(1) 「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料3ページ

##### 1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

#### 【訂正前】

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

##### [半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、半導体内製化を推し進める中国地域でモールドイング装置や金型の売上が大幅に増加したこと、また、スマートフォンなど5G関連製品向けを中心にシンギュレーション装置の売上が大きく伸長した結果、売上高265億36百万円(前連結会計年度比46億32百万円、21.1%増)となりました。利益につきましては、売上高の増加に加え、メモリ向けにコンプレッション金型の売上が増えたことなどから収益性が改善した結果、営業利益33億88百万円(前連結会計年度比27億70百万円増、5.5倍)となりました。

##### [ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、体温計などの医療機器向け製品の売上が堅調に推移したことから、売上高18億6百万円(前連結会計年度比1億92百万円、11.9%増)、営業利益3億89百万円(前連結会計年度比1億46百万円、60.5%増)となりました。

##### [レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、自動車や産業機械の需要回復を受け電子部品の需要が増加していることから、足元の受注・売上環境は回復傾向にあるものの、上期の受注・売上が低調であったことなどから、売上高13億64百万円(前連結会計年度比3億73百万円、21.5%減)、営業損失1億59百万円(前連結会計年度は営業損失48百万円)となりました。

【訂正後】

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、半導体内製化を推し進める中国地域でモールドイング装置や金型の売上が大幅に増加したこと、また、スマートフォンなど5G関連製品向けを中心にシンギュレーション装置の売上が大きく伸長した結果、売上高 265 億 36 百万円（前連結会計年度比 46 億 32 百万円、21.1%増）となりました。利益につきましては、売上高の増加に加え、メモリ向けにコンプレッション金型の売上が増えたことなどから収益性が改善した結果、営業利益 33 億 33 百万円（前連結会計年度比 27 億 15 百万円増、5.4 倍）となりました。

[ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、体温計などの医療機器向け製品の売上が堅調に推移したことから、売上高 18 億 6 百万円（前連結会計年度比 1 億 92 百万円、11.9%増）、営業利益 3 億 89 百万円（前連結会計年度比 1 億 46 百万円、60.5%増）となりました。

[レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、自動車や産業機械の需要回復を受け電子部品の需要が増加していることから、足元の受注・売上環境は回復傾向にあるものの、上期の受注・売上が低調であったことなどから、売上高 13 億 64 百万円（前連結会計年度比 3 億 73 百万円、21.5%減）、営業損失 1 億 3 百万円（前連結会計年度は営業損失 48 百万円）となりました。

（2）「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 25 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

【訂正前】

当連結会計年度（自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	半導体製造装置事業	ファインプラスチック 成形品事業	レーザ加工装置事業	合計
売上高				
(1)外部顧客への売上高	26,536,151	1,806,447	1,364,194	29,706,793
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	26,536,151	1,806,447	1,364,194	29,706,793
セグメント利益又は損失（ ）	<u>3,388,650</u>	389,621	<u>159,325</u>	3,618,946
セグメント資産	48,366,918	2,050,713	1,372,884	51,790,516
その他の項目				
減価償却費	1,462,772	88,978	36,958	1,588,709
のれんの償却額	28,983			28,983
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	3,176,624	252,303	19,607	3,448,536

（注）セグメント利益又は損失（ ）の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 【訂正後】

当連結会計年度（自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	半導体製造装置事業	ファインプラスチック 成形品事業	レーザ加工装置事業	合計
売上高				
(1)外部顧客への売上高	26,536,151	1,806,447	1,364,194	29,706,793
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	26,536,151	1,806,447	1,364,194	29,706,793
セグメント利益又は損失（ ）	3,333,314	389,621	103,989	3,618,946
セグメント資産	48,366,918	2,050,713	1,372,884	51,790,516
その他の項目				
減価償却費	1,462,772	88,978	36,958	1,588,709
のれんの償却額	28,983			28,983
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	3,176,624	252,303	19,607	3,448,536

（注）セグメント利益又は損失（ ）の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

以 上